

## 8月の天候

2021年（令和3年）8月の日本の天候は、西日本では降水量は記録的に多く、日照時間はかなり少なく、気温は低く、東日本太平洋側では降水量はかなり多くなりました。北日本日本海側の降水量は少なくなりました。沖縄・奄美の気温は低くなりました。

2021年（令和3年）8月の天候の特徴は以下のとおりです。

○西日本では降水量は記録的に多く、日照時間はかなり少なく、気温は低く、東日本太平洋側では降水量はかなり多くなりました  
中旬に本州付近に停滞した前線などの影響により、東日本太平洋側と西日本では降水量はかなり多く、特に西日本では8月としては記録的な多雨となり、日照時間はかなり少なく、気温は低くなりました。

○北日本日本海側の降水量は少なくなりました  
北日本日本海側では、上旬の中頃までは太平洋高気圧が張り出し、その後はオホーツク海高気圧が北海道付近に張り出して前線の影響も受けにくく、降水量は少なくなりました。

○沖縄・奄美の気温は低くなりました  
沖縄・奄美では、上旬に熱帯低気圧や台風第9号、第10号の影響を受け、下旬のはじめに台風第12号の影響を受けて曇りや雨の日が多かったため、気温は低くなりました。

別紙（概況、統計値等）[PDF形式:548KB]

[https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko202108\\_besshi.pdf](https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko202108_besshi.pdf)

問合せ先：大気海洋部 観測整備計画課 担当 村井（観測値や記録について）  
電話 03-6758-3900（内線 4268）  
大気海洋部 気候情報課 担当 竹川（天候の解説について）  
電話 03-6758-3900（内線 4547）